



ライセンスングについての情報

- [ライセンスの設定に関する制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [ライセンスングについての情報 \(1 ページ\)](#)
- [アドオンライセンスレベルの設定方法 \(4 ページ\)](#)
- [ライセンスレベルの設定例 \(8 ページ\)](#)
- [ライセンスの機能の履歴 \(9 ページ\)](#)

ライセンスの設定に関する制約事項

- スイッチスタックのメンバーでは、同じライセンスレベル（基本ライセンスレベルとアドオン）を実行する必要があります。基本ライセンスが一致せずライセンスレベルが異なる場合、レベルを変更してアクティブスタックから再起動するまでは、スイッチはスタックに参加しません。アドオンライセンスが一致していない場合は、アクティブスタックによって自動的に同期されます。
- 永久ライセンスは1つのデバイスから別のデバイスに移動できます。ライセンスをアクティブ化するには、スイッチを再起動する必要があります。
- 再起動後に、期限が切れた評価ライセンスを再びアクティブ化することはできません。

ライセンスングについての情報

ライセンスレベルの概要

スイッチのソフトウェア機能は、基本（機能セットとも呼ばれます）およびアドオンライセンスレベルで使用できます。有効期間によってライセンスタイプが決まります。

- スイッチの**基本ライセンスレベル**は、スイッチのモデル番号で示されます。常に期限のない永久ライセンスです。

- アドオンライセンスレベルでは、スイッチだけでなく Cisco Digital Network Architecture Center (Cisco DNA Center) でもシスコのイノベーションとなる機能を得られます。アドオンライセンスは、3、5、または7年間のライセンスタイプでのみ注文できます。

基本ライセンス

Cisco Catalyst 3560-CX シリーズ コンパクト スイッチには、IP Base ライセンスが付属しており、IP Services ライセンスを使用するようにアップグレードできます。Cisco Catalyst 2960-CX シリーズ コンパクト スイッチには、LAN Base ライセンスレベルが付属しています。



(注) Cisco Catalyst 2960-CX シリーズでは、基本ライセンスレベルはハードウェアモデルにバインドされており、変更できません。

アドオンライセンス

Cisco Catalyst 3560-CX シリーズ コンパクト スイッチでは、次のアドオンライセンスを使用できます。

- DNA Essentials
- DNA Advantage

Cisco Catalyst 2960-CX シリーズ コンパクト スイッチでは、Cisco DNA Essentials アドオンライセンスを使用できます

アドオンライセンスには次のガイドラインが適用されます。

- アドオンライセンスを設定する場合、再起動は必要ありません。
- アドオンライセンスは、3年、5年、または7年単位で注文できます。
- 日単位で電子メールアラートを受信し、アドオンライセンスの更新期限通知を受け取るには、Cisco SSM を設定する必要があります。
- Cisco Catalyst 3560-CX シリーズの場合：IP Base + Cisco DNA Advantage の組み合わせを注文すると、SDA で使用できる仮想ネットワークは3つだけです。
- Cisco Catalyst 2960-CX シリーズの場合：Cisco DNA Essentials アドオンライセンスのみが利用可能です。（CLI には表示されますが、Cisco DNA Advantage ライセンスレベルは使用できません）。

ライセンスの状態

特権 EXEC モードで **show license** コマンドを使用して、ライセンス情報にアクセスすることもできます。

表 1: 使用権ライセンスの状態

License State	説明
Active, In Use	EULA が承認され、デバイス再起動後にライセンスが使用されています。
Active, Not In Use	EULA が承認され、ライセンスが有効になった時点で、スイッチを使用する準備が整っています。
非アクティブ化	EULA が承認されませんでした。

次に、スイッチのライセンスレベルを表示する例を示します。この例では、LAN Base がアクティブかつ使用中のライセンスとして示されています。

```
Switch# show license

Index 1
License Name      : lanlite
Period left       : 0 minute 0 second
License Type: Permanent
License State: Inactive
Index 2
License Name      : lanbase
Period left       : 0 minute 0 second
License Type: Permanent
License State: Active, In use
Index 3
License Name      : dna-essentials
Period left       : CSSM Managed
License Type      : Subscription
License State     : Active, In use
Index 4
License Name      : dna-advantage
Period left       : CSSM Managed
License Type      : Subscription
License State     : Not Activated
```

イメージベースのライセンスの状態をモニタする場合のガイドラインは次のとおりです。

- 購入した永久ライセンスは、スイッチの再起動後のみに Active, In Use 状態に設定されません。
- 複数のライセンスを購入した場合は、再起動すると最も高い機能セットのライセンスがアクティブ化されます。たとえば、LAN Base ライセンスがアクティブ化され、LAN Lite ライセンスはアクティブ化されません。
- スwitchの再起動後も、残りの購入済みライセンスはアクティブで未使用の状態のままです。

ライセンスタイプのガイドライン

ライセンスは、永久タイプまたは期間タイプのみです。

- 永久：ライセンスレベル、有効期限なし。スイッチの基本ライセンスタイプはモデルによって決まり、常に無期限です。
- 有効期間付き：ライセンスレベル、3年、5年、または7年の期間。アドオンライセンス（DNA Essentials および DNA Advantage）の注文は、有効期間付きライセンスタイプのみとなります。

スマートアカウントでの発注

スマートアカウントを使用してデバイスとライセンスを注文することをお勧めします。スマートアカウントでは、一元化された1つのWebサイトから、スイッチ、ルータ、ファイアウォール、アクセスポイント、ツールのすべてのソフトウェアライセンスを管理できます。スマートアカウントを作成するには、Cisco Smart Software Manager（Cisco SSM）を使用します。



- (注) 有効期間付きライセンスの期限切れに関する情報は Cisco SSM の Web サイトを通じてのみ利用可能であるため、これは有効期間付きライセンスを注文する場合に特に役立ちます。

Cisco SSM の詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/buy/smart-accounts/software-licensing.html> を参照してください。

スイッチ スタックのライセンスのアクティブ化

LAN Base モデルは、LAN Base モデルのみとスタックできます。

アクティブスタックは、そのアクティブコンソールからライセンスを使用してアクティブ化します。スタック内のメンバーのライセンスレベルも同時にアクティブ化できます。

スタックケーブルが接続されている場合、ライセンスレベルを変更する際に、新たに追加されたスタックメンバーを切断しないでください。代わりに、アクティブコンソールを使用して新しいメンバーのライセンスレベルをアクティブスタックと同じレベルに設定してから、新しいメンバーを再起動すると、新規メンバーがスタックに参加します。

基本ライセンスの場合にのみ再起動が必要です。アドオンライセンスを設定するには必要ありません。

アドオンライセンスレベルの設定方法

ここでは、アドオンライセンスレベルの設定方法について説明します。

イメージベースのアドオンライセンスのアクティブ化

次の手順を実行すると、イメージベースのライセンスをアクティブ化できます。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **license boot level addon *addon-license***
4. **license accept end user agreement force**
5. **show license right-to-use usage**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	license boot level addon <i>addon-license</i> 例： Device(config)# license boot level addon dna-essentials	アドオンライセンスレベルを指定します。次のオプションを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • DNA Essentials • DNA Advantage
ステップ 4	license accept end user agreement force 例： Device(config)# license accept end user agreement force	エンドユーザーライセンス契約（EULA）の承認を有効にします。 (注) アドオンライセンス契約（EULA）の承認は必須ではありませんが、この手順を完了するまでは、DNAC機能を使用または設定することはできません。
ステップ 5	show license right-to-use usage 例： Device(config)# show license right-to-use usage	詳細な使用状況に関する情報を表示します。 show license right-to-use command で他のオプションを使用できます。

Cisco Catalyst 3560-CX シリーズでのイメージベースのアドオンライセンスのアクティブ化

次の手順を実行すると、イメージベースのライセンスをアクティブ化できます。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **license right-to-use [activate | deactivate] [addon {dna-essentials | dna-advantage }]{subscription | evaluation} [acceptEULA]**
4. **show license right-to-use usage**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	license right-to-use [activate deactivate] [addon {dna-essentials dna-advantage }]{subscription evaluation} [acceptEULA] 例： Device(config)# license right-to-use activate ipbase acceptEULA Device(config)# license right-to-use activate addon dna-essentials subscription acceptEULA	スイッチで指定されたライセンスレベルをアクティブ化し、エンドユーザーライセンス契約（EULA）への同意を有効にします。 アドオンライセンスを構成するために、EULA への同意は必須ではありません。
ステップ 4	show license right-to-use usage 例： Device(config)# show license right-to-use usage	詳細な使用状況に関する情報を表示します。 show license right-to-use command で他のオプションを使用できます。

ライセンスの再ホスト

ライセンスを再ホストするには、1つのデバイスのライセンスを非アクティブ化し、別のデバイスで同じライセンスをアクティブ化します。次の手順を使用して、ライセンスを再ホストできます。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **license right-to-use deactivate [license-level] slotslot-num**
4. **license right-to-use activate [license-level]slot-num [acceptEULA]**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	license right-to-use deactivate [license-level] slotslot-num 例： Device(config)# license right-to-use deactivate dna-essentials slot 1	1 つのデバイスのライセンスを非アクティブ化します。
ステップ 4	license right-to-use activate [license-level]slot-num [acceptEULA] 例： Device(config)# license right-to-use activate dna-essentials slot 2	別のデバイスのライセンスをアクティブ化します。

ライセンスのモニタリング

ライセンス情報をモニタリングするには、特権 EXEC モードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
show license right-to-use default	デフォルトのライセンス情報を表示します。
show license right-to-use detail	スイッチ スタック内のすべてのライセンスの詳細情報を表示します。
show license right-to-use eula	エンドユーザ ライセンス契約を表示します。
show license right-to-use slot slot-number	スイッチ スタック内の特定のスロットのライセンス情報を表示します。

コマンド	目的
show license right-to-use summary	スイッチ スタック全体のライセンス情報の要約を表示します。
show license right-to-use usage [slot slot-number]	スイッチ スタック内のすべてのライセンスの使用状況に関する詳細情報を表示します。

ライセンスレベルの設定例

ここでは、ライセンスレベルの設定例を示します。

参照先

.

例：ライセンスの詳細情報の表示

次に、**show license right-to-use detail** コマンドを使用してスタック内にあるすべてのライセンスの詳細情報を表示する例を示します。

```
Device# show license right-to-use detail
Index 1
  License Name      : Advanced Enterprise Services
  Period left       : Lifetime
  License Type      : permanent
  License State     : Active, In use
Index 2
  License Name      : dna-essentials
  Period left       : CSSM Managed
  License Type      : Subscription
  License State     : Not Activated
Index 3
  License Name      : dna-advantage
  Period left       : CSSM Managed
  License Type      : Subscription
  License State     : Active, In use
```

例：ライセンスの要約情報の表示

次に、**show license right-to-use summary** コマンドを使用して、ライセンスの要約情報を表示する例を示します。

```
Device# show license right-to-use summary
License Name      Type      Period left
-----
lanlite           Permanent 0 minute 0 second
lanbase           Permanent 0 minute 0 second
dna-essentials    Subscription CSSM Managed
-----
```

```
License Level In Use: lanbase addon: dna-essentials
License Level on Reboot: lanbase addon: dna-essentials
```

Example: show license right-to-use usage

```
FEX-0#show license right-to-use usage
slot          License Name          Type          In-use  EULA
-----
0             lanlite               Permanent     yes     yes
0             lanbase               Permanent     yes     yes
              dna-essentials        Subscription  yes     yes
              dna-advantage         Subscription  no      yes
```

例：エンドユーザーライセンス契約の表示

次に、エンドユーザーライセンス契約を表示する例を示します。

```
Device# show license right-to-use eula subscription
Feature name          EULA Accepted
-----
dna-essentials        yes
dna-advantage         no
PLEASE READ THE FOLLOWING TERMS CAREFULLY. INSTALLING THE LICENSE OR
LICENSE KEY PROVIDED FOR ANY CISCO SOFTWARE PRODUCT, PRODUCT FEATURE,
AND OR SUBSEQUENTLY PROVIDED SOFTWARE FEATURES (COLLECTIVELY, THE ?SOFTWARE?),
USING SUCH SOFTWARE, AND/OR ACTIVATION OF THE SOFTWARE COMMAND LINE INTERFACE
CONSTITUTES YOUR FULL ACCEPTANCE OF THE FOLLOWING TERMS.YOU MUST NOT PROCEED
FURTHER IF YOU ARE NOT WILLING TO BE BOUND BY ALL THE TERMS SET FORTH HEREIN.

Your use of the Software is subject to the Cisco End User License Agreement (EULA)
and any relevant supplemental terms (SEULA) found at
http://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/cloud-and-software/software-terms.html.
You hereby acknowledge and agree that certain Software and/or features are licensed
for a particular term, that the license to such Software and/or features is valid only
for the applicable term and that such Software and/or features may be shut down or
otherwise terminated by Cisco after expiration of the applicable license term (e.g.,
90-day trial period). Cisco reserves the right to terminate any such Software feature
electronically or by any other means available. While Cisco may provide alerts, it is
your sole responsibility to monitor your usage of any such term Software feature to
ensure that your systems and networks are prepared for a shutdown of the Software feature.
To memorialize your acceptance of these terms and activate your license to use the
Software,
please execute the command "license accept end user agreement force".
```

ライセンスの機能の履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS リリース 15.2(6)E1	この機能が導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。